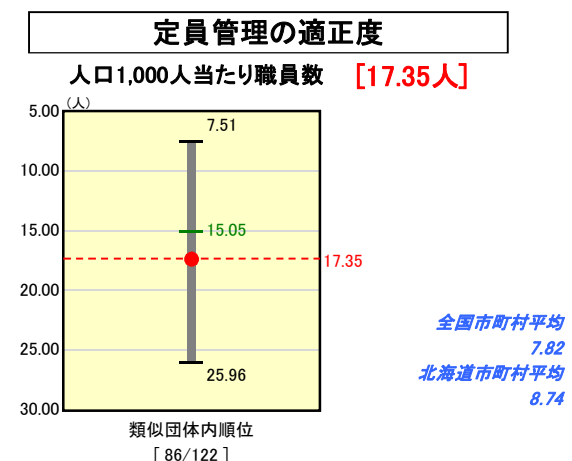
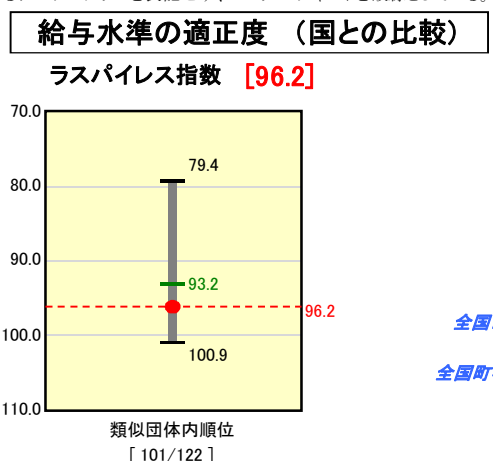
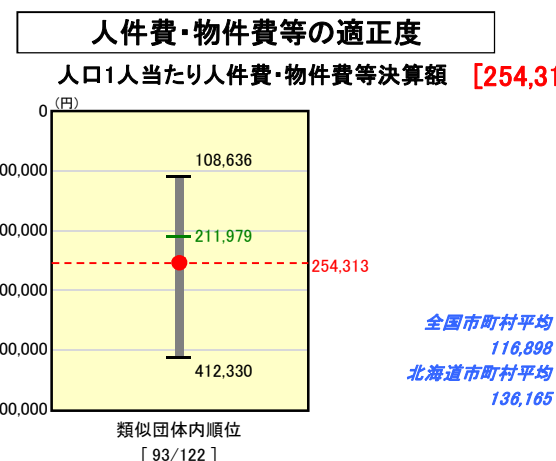
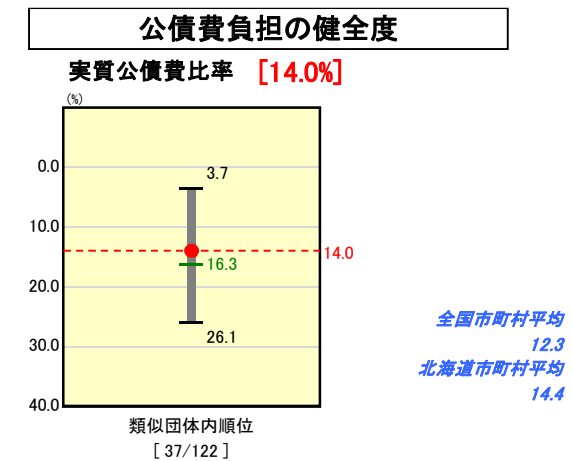
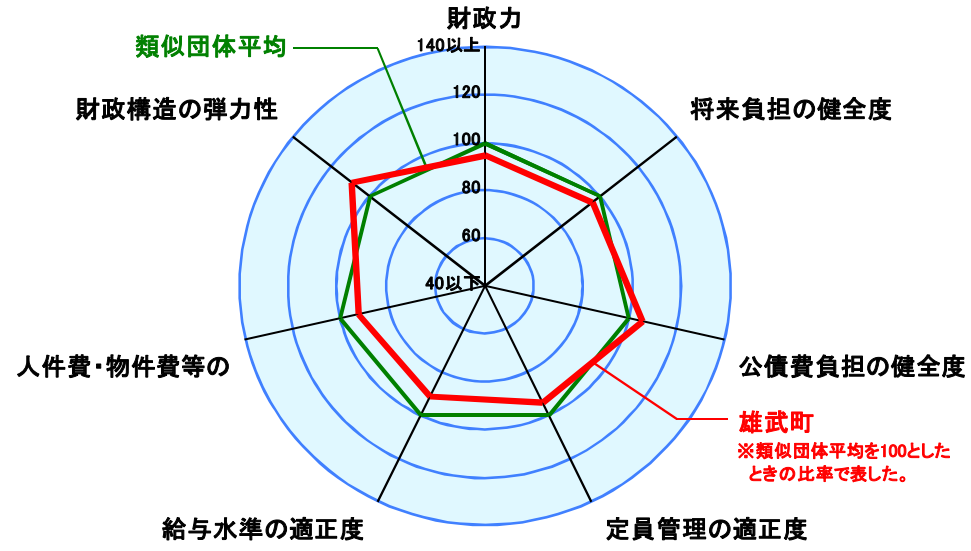
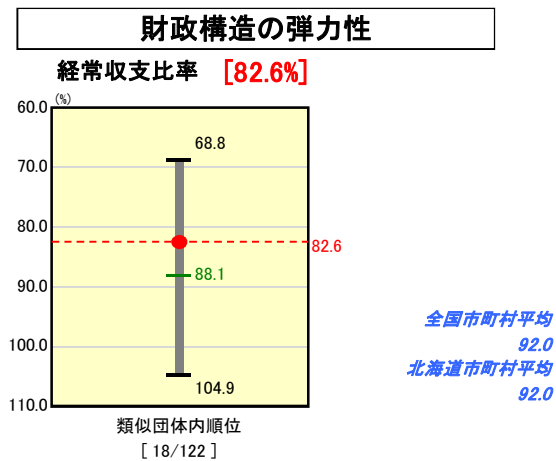
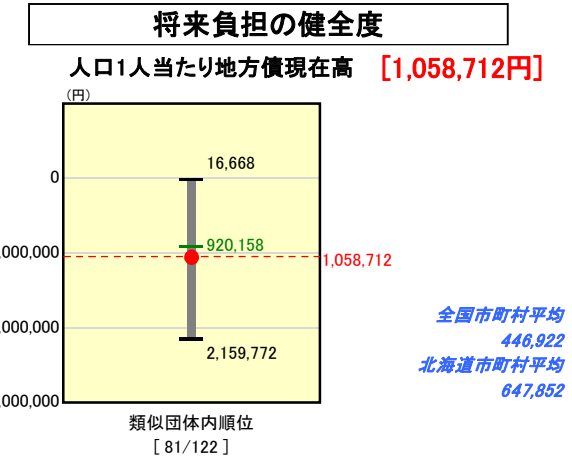
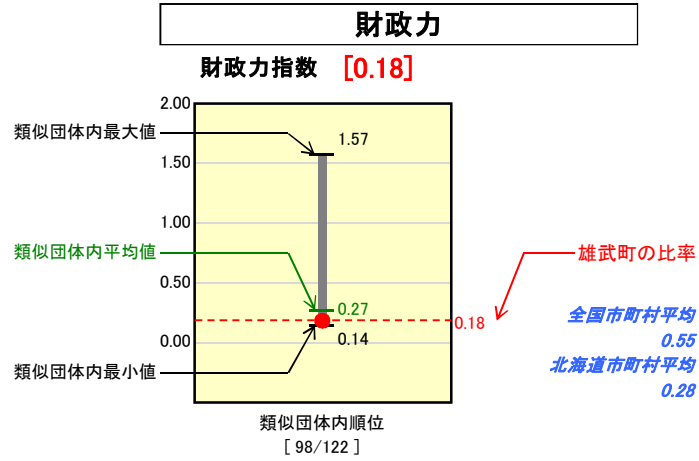


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

北海道 雄武町

人口	5,188人	(H20.3.31現在)
面積	637.06	km ²
歳入総額	4,546,138	千円
歳出総額	4,338,254	千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※ラスパイレズ指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数： 類似団体平均を下回っているが、定員適正化計画に基づく定員管理や職員給料3%カットによる人件費の削減、事務事業評価の導入により、緊急に必要な事業を峻別し、投資的経費を抑制する等、歳出の見直しを実施するとともに、税収の収納対策を中心に歳入確保の取り組みを通じて財政基盤の強化に努める。

経常収支比率： 平成16年度から継続している給与削減計画(3%カット)や業務の民間委託により、経常経費の削減を図っており、類似団体平均を下回る数値となっている。今後とも、事務事業の点検・見直しにより優先度を厳しく精査し、優先度の低い事務事業については、計画的に廃止・縮小を進め、経常経費の削減に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額： 人件費、物件費及び維持補修費の合計額の人口1人当たりの金額が類似団体平均を上回っているのは、人件費と物件費に要因がある。類似団体と面積、人口密度、標準財政規模など単純比較にはなじまない状況もあるが、定員適正化計画に基づく定員管理や職員給料3%カットによる人件費の削減等により、コスト低減を図っていく方針である。

設事業であるが、地方債の新規発行抑制等により、本事業に係る地方債の償還が完了する平成22年度以降は、類似団体平均の水準となる見込みである。

実質公債費比率： 事務事業評価の導入により、緊急に必要な事業を峻別し、投資的経費を抑制する等、歳出の見直しを実施するとともに、税収の収納対策を中心に歳入確保の取り組みを通じて財政基盤の強化に努めており、類似団体平均を下回る数値となっている。

人口1,000人当たり職員数： 過去の行革計画においても定員の削減を実施してきたが、未だ類似団体平均と比較すると高い水準にあり、今後とも適切な定員管理に努める。

ラスパイレズ指数： 現行の給与削減計画(3%カット)により、人件費の削減を図ってきたが、未だ類似団体平均と比較すると高い水準にある。年功的要素の高い給与構造の抜本見直しにより、ラスパイレズ指数の低下に努めていく方針である。